

公益財団法人四万十公社
第8期（令和元年度）事業報告

総括的事業概要

1. 人員整備

新規採用は、行わなかった。

9月末で会館・公園担当の臨時職員1名が退職した。補充人員の募集をしたが年度中の採用はなかった。

2. ケーブル事業の概要

四万十公社の主軸業務であるケーブル事業は、開局当初からの加入率約85%を維持しながらケーブル機器のリプレースを四万十町と連携を取りながら計画的に実施した。この1年間は伝送路断線等の障害事故も発生したが迅速に対応しお客様満足度も向上したと自負しております。高速インターネットの加入数も年々増加し、安定した運営ができました。

3. 会館・公園事業の概要

窪川四万十会館、四万十緑林公園においては、経年劣化の修繕箇所や保守業者からの指摘箇所などを行政と協議を行い改修した。

自主事業は月1回のペースで開催することができました。ホール5回、ホワイエ2回、公園3回、計10回を実施しました。

【公益目的事業：ケーブル事業（指定管理）】

■加入状況

区 分		平成 29 年度 末	平成 30 年度 末	令和元年度 末	前年度比 (30-1)
基本 サービス		7, 4 4 8	7, 4 7 1	7, 4 7 9	8
	うち休止	2 6 3	3 1 8	3 0 0	▲ 1 8
ネット	1 2 8 K	5 6 0	5 4 0	4 9 6	▲ 4 4
	3 0 M	2, 4 0 8	2, 5 0 1	2, 6 7 2	1 7 1
	1 0 0 M	2 8 7	3 0 1	3 3 7	3 6
S T B		1, 2 0 5	1, 1 5 6	1, 1 0 3	▲ 5 3
	レンタル	1 4 5	1 3 2	1 1 9	▲ 1 3
	以外終了	7 7 8	7 5 5	7 2 8	▲ 2 7
	買 取	2 8 2	2 6 9	2 5 6	▲ 1 3
有料放送	ファミ CH	1, 1 9 1	1, 1 4 2	1, 0 8 7	▲ 5 5
	ペイ CH	7 3	6 9	6 5	▲ 4
I P 電話		1 4 1	1 2 9	1 1 8	▲ 1 1

■工事発注件数（平成 3 1 年度 4 月～ 3 月末）

- ・ O N U 工 事： 2 8 2 件（新規 116 件、移転 55 件、撤去 111 件）
- ・ 障 害 工 事： 1 2 6 件（断線・支線補修・張替等 81 件、伐採 26 件、
ONU 障害 16 件、その他 3 件）
- ・ 電 力 柱 移 転 工 事： 7 8 件 電柱建替及び移設
- ・ N T T 柱 移 転 工 事： 7 件 電柱建替及び移設
- ・ その他受注による工事： 1 4 件 道路拡幅に伴う支障移転工事等、
ムササビ障害、風水災害（台風及び火災）等

地上波テレビ放送の難視聴対策に加えて、地域に密着したあらゆる分野における情報提供を行い、地域間の情報格差の是正を行う為、事業を展開した。

自主放送では地域の身近な情報の番組づくりを行うほか、町民が気軽に参加できる番組づくりを目指す。また、安定した通信の提供など町民のニーズに対応できる事業や施設の維持管理及び機器更新等の提案などの施設運営に努めた。

1. 登録有線一般放送の放送番組の提供に関する業務

地上波テレビ放送の難視聴対策に加えて「情報格差是正や地域情報の提供を通じ、地域住民の生活環境の向上及び豊かなコミュニティの形成並びに快適な環境のまちづくりに寄与する」四万十町ケーブルネットワーク施設を十分に理解・尊重した上で、放送法施行規則第134条に規定された、有線一般放送（テレビジョン放送）を遵守し四万十町民の生活を支える重要なインフラとなっていることを十分に認識し、常に善良な管理、施設を保全、サービス内容の拡充と適正な運営に努めた。

- ・同時再送信に関する業務
- ・自主放送に関する業務
- ・有料放送に関する業務

1) 自主放送に関する業務

【課題】地デジ12ch追加による運用の充実

平成30年度の映像系機器更新に合わせて「河川監視カメラ映像」の視聴操作を緩和する為に12chに割り当てる目的でチャンネルを追加した。

また、議会中継（町議会・県議会）が重なった際、放送チャンネル枠がなく町議会のみ生中放送だったが、新たに12chの追加をすることにより、両議会の生放送が視聴できる様になった。

チャンネル設定の周知として、加入者へ各媒体（四万十町通信、番組表、HP、自主放送、文字放送）を使って『チャンネルスキャンを』といった周知を行った。

■ 自主放送番組の編成

	リモコン番号	チャンネル名	放送状況
四万十 CATV11	11	四万十自主① 111	<ul style="list-style-type: none"> ・しまんと放送室 ・四万十うおっちゃんぐ ・行政番組 ・文字放送 ・議会中継（町議会） ・特別番組等
		四万十自主② 112	・河川監視カメラ映像
四万十 CATV12	12	四万十自主③ 121	・河川監視カメラ映像
		四万十自主④ 122	<ul style="list-style-type: none"> ・議会中継（県議会） ・行政放送（文字放送）

2) 有料放送に関する業務

平成30年度の再構築（FTTH 放送系設備及びデジタルヘッドエンド）により110度CSのパススルーが可能な構成となったため、有料番組の代替えサービスを視野に入れ企画課と協議を行った。

有料番組については、SD 配信終了に伴い番組提供の終了を視野に入れているが、令和元年度はSD でのサービスを提供した。

2. 町及び公的機関の情報の提供に関する業務

1) 行政放送

町の広報誌や町の取り組みと連動した番組制作について技術的支援を行った。

番組制作に際しては、台本作成や番組の進行及び出演は町役場各担当課が行い、企画課が調整のうえ、撮影、編集等を公社が担当した。

担当課と連携し行政情報を分かりやすく（文字の大きさ・色使い等に留意）放送することを重点目標として業務を行った。（週1回更新）

- ・主な行政番組：各課紹介・各課のお知らせ・40010のたから等
- ・番組制作数：40本
- ・再放送・持ち込み放送数：14本

2) 議会中継及び再放送

行政の指示に従い 四万十町議会定例会及び臨時会の撮影、音声、字幕表示のオペレート業務、再放送に係る業務等技術的支援を行った。

議会開催前には回線のチェック（疎通確認）を行いトラブルなく業務を行った。

- ・町議会定例会・臨時会の放送：7回（21日間）生放送。

同日夜及び同週末に再放送

- ・高知県議会定例会の放送：4回（26日間）生放送および録画放送

3) 文字放送

公共的各団体が入力した掲載記事を確認、承認を行い、情報が的確に放送されるよう技術的支援を行った。

4) データ放送

111ch で文字放送が放送されない時間帯でも文字放送に出された情報の確認ができるほか緊急情報（L字放送）が町役場等から出された際も「d ボタン」を押すことで常に確認できる。この仕組みを視聴者に伝えデータ放送の視聴拡大を図る。また、スマートフォンアプリ（四万十町くらしの情報）にも情報が連携されるため合わせて利用の案内を行った。

3. 緊急情報の提供に関する業務

災害対策に係る町の対策体制配備と連動し、災害放送に対応する体制を整えた。

また、災害時に力を発揮するL字放送機器の定期的なメンテナンス（再起動・試験表示等）に取り組み災害に備える。

町が実施する防災訓練への参加や、緊急時の放送訓練を定期的に行った。

【連携内容】

- ・音声告知端末の確認：週2回（月・木）及び災害予測時
- ・災害時の事前準備：役場緊急生放送の準備（役場会議室）
- ・災害時の確認：L字放送・文字放送・河川監視
- ・災害時職場待機体制：台風10号時（8/14-15）
- ・四万十町災害対策本部運営のBCP訓練への参加（11/30）
- ・高知地域メディア連携懇談会への参加（12/03）

4. 町民が自主的に取り組む映像制作の支援及び表現機会の提供に関する業務

町民が撮影した映像や写真等を気軽に紹介できるような投稿枠の確保を行った。（しまんと放送室 木曜日更新版に投稿枠を確保）

また、撮影方法や投稿方法などのレクチャーを行い、技術面のサポートを行った。

- ・モバイルムービー講習会：2回実施（10/18 経験者編・2/22 初級者編）
- ・スマートフォン等を活用した動画制作方法の周知
- ・モバイル投稿者数：27人（放送回数：104回）

5. 番組制作に係る取材、編集及び収録並びに番組映像の保管と公開に関する業務

1) 自主放送番組制作に係る業務

コミュニティ放送の特徴を活かし、「四万十町らしさ」を感じることでできる多様な番組づくりを行った。

(1) しまんと放送室・・・週2回更新（30分番組）

町内での身近な出来事や四万十町に関する事を取り上げて放送。

また、地域イベントの紹介等を周知する伝言板のコーナーや次回の番組予告をお知らせするコーナーを確保した。

- ・更新回数98回放送 うち生放送8回（トピック数464本）

(2) 四万十うおっちゃんぐ・・・週1回更新（15分番組）

今年度よりコーナー化を図りインタビュー構成を多くし、「町民が主役」をテーマに番組制作を行った。

- ① 「わたしのまち」町の風景紹介（四万十町の風景や地域の歴史紹介など）
- ② 「アクティブ」団体紹介（スポーツ・文化活動を行う団体やサークルを紹介）
- ③ 「収穫日和」1次産業にレンズを向けた番組（農業・漁業等の収穫風景）
- ④ 「あの頃うおっちゃんぐ」過去の番組を定期的に取り上げて紹介
- ⑤ 「四万人」人物紹介（町内で活躍する人々にスポットをあてて紹介）

- ・更新回数49回放送

(3)ドローンの活用

無人航空機（ドローン・ラジコン機等）の飛行ルールである航空法に基づき、飛行許可承認を得た上で無人航空機飛行マニュアル、航空法の改正など確認しながら安全運用を行った。

- ・自主放送番組の撮影

四万十ケーブルテレビで放送している自主番組（しまんと放送室及び四万十うおっちゃんぐ）で各地域を撮影し放送した。24箇所

- ・ドローンの操縦体験の実施

ドローンを活用し、地域活性の多様な価値観を生み出す場づくりとして、昨年度は10周年開局記念イベントを皮切りにドローン操縦体験を開始した。四万十ケーブルテレビの放送番組の映像撮影の裏側とドローン活用など誰もが気軽に先端技術（ICT技術）にふれる機会の提供を行った。

- ・「4K水中ドローン」活用方法の検証

四万十川からのリアルタイムで映像伝送を行うために「4K水中ドローン」を導入して、生中継や活用方法を関係機関と検証を行った。2月には県内報道機関への報道発表も行い実証実験を実施した。

- ・四万十町ドローン推進協議会の活動

農業IoT関連の今後の農家活用とした実証研究の活動を行った。

内容：水稻生育について、七里地区（にこまる農家）の水田を農業専用カメラ搭載のドローンで撮影オペレートを行い、その撮影データを画像データ解析ソフトを使って色識別で水稻生育が可能かの調査研究を行った。

(4)特別番組等(長尺・生放送・他局番組含む)

- ・特別番組

四万十ケーブルテレビ開局10周年記念番組・小中音楽祭・保育所、小中学校、高等学校の運動会・秋祭り・講演等の行事等

- ・イベント生中継

金太郎夜市2日・台地まつり（鳴子）・大晦日の除夜の鐘・初日の出

（桜マラソン中継については、コロナウイルスの影響を考慮しリスク回避を最優先させ中止とした。）

(5)県内ケーブルテレビ局及び専門チャンネルからの番組提供

高知県内のケーブルテレビ局が制作する番組及び通信販売の専門チャンネルなど、以下の曲から番組の提供を受け放送を行った。

- ・高知ケーブルテレビ
- ・西南地域ネットワーク
- ・香南ケーブルテレビ

- ・よさこいケーブルネット
- ・テレビショッピングチャンネル（ショップチャンネル・QVC）

2) 番組映像の保管と公開に関する業務

放送終了後に、放送年月日、放送内容等をテキスト化し、映像とともにアーカイブ化を行った。

また、自主放送 しまんと放送室及び四万十うおっちんぐの放送は、放送終了後に『みのがしうおっちんぐ』として一年間のネット配信を実施した。

6. テレビ及びラジオ放送の再送信に関する業務

放送法の有線一般設備安全・信頼性に関する技術基準に適合し安定的なテレビジョン放送の同時再放送業務を行った。

- ・FM放送局の放送（FM文字多重を含む）の同時再送信
- ・地上デジタルテレビジョン放送の同時再放送 パススルー方式（OFDM方式、同一周波数）
- ・衛星デジタルテレビジョン放送の同時再放送 BS-IFパススルー方式
- ・デジタル有線テレビジョン放送の同時再放送 トランスモジュレーション方式

また、放送の再放送に関する業務は放送法第11条等にもとづき下記の内容の申請、変更の手続き業務を行った。

- ・地上基幹放送事業者（民放・ラジオ）
- ・衛星基幹放送事業者（BS放送及び東経110度CS放送）
- ・一般放送事業者（東経124/128度CS放送・番組供給事業者）

その他の報告業務

- ・総務省四国総合通信局に放送法に基づく報告業務
- ・各事業者間の再放送同意に基づく報告業務
- ・日本ケーブルテレビ連盟への報告業務
- ・各著作権団体への報告業務
- ・番組供給事業者の報告業務

7. インターネットサービス等の通信に関する業務

近年は、スマートフォン、タブレットといった通信機器の普及など多様化により通信環境は大幅に変化している。それに比例し、各加入者毎のトラフィック量も著しく増量状況にある。今後更なるトラフィック量の増加が見込まれるため、トラフィック量を確保し、加入者へ安定したサービスが行き届くよう、保守業者と連携し定期的な確認及び対策を行った。

年度末にはコロナウイルスの影響で学校が休校となった事もあってか、平常時とは違った時間帯にトラフィックの利用が増えるなどの状況も見受けられた。

1) インターネット利用者の拡大を図る

令和元年度は、通常の案内（自主放送・ホームページ・窓口）の他、『四万十ケーブルテレビ開局 10 周年加入促進キャンペーン』を行った。

また、安心して快適にインターネットをする事が出来る『無線 LAN ルーター設置設定サービス』についてもケーブルテレビ新規加入契約時や工事事前調査の際に案内を実施した。

2) インターネットサポートの充実

スマートフォンの普及でネット接続（特に Wi-Fi）に関する問い合わせが急増し続けている。加えて令和元年は Windows7 の OS サポート終了もありパソコンの問い合わせも増えた。

また、開局から加入者宅に設置されている ONU とセンター設備も 10 年以上を経過し、機器を再起動する場合に不具合が生じ交換が必要になってきていることもあり、特にインターネット通信は、原因がケーブル側か加入者側かの切り分けが複雑で、1 件の問合せに対して利用者が設置しているメーカーの特性の確認など、検証等を含め複数回の対応が必要な案件も少なくない。

・問合せ及び検証訪問：約 457 件（1 案件につき 1 件のカウント）

・訪問サポート（有料）： 62 件

・集合住宅用配線及び開通工事： 24 件

・LAN配線・ルーター設置設定： 11 件

・主な問合せ内容と対応

① Wi-Fi ルーターの設定及び接続設定案内（初回設置、ルーター入替等）

② ルーターと Wi-Fi 接続する各端末の接続設定案内（スマホや PC の買い替えで再接続の方法）

③ Wi-Fi につながらなくなった、速度が遅くなった（加入者側：ルーター、スマホ、タブレットの確認・センター側：ONU 機器検証、トラフィック調査など）

④ メールの設定案内（メールの詳細設定、Windows7 の OS サポート終了に伴う PC 買い替え時のメールの設定移行）

⑤ 加入者 PC の初期設定サポート

・ Microsoft Office のインストール（再インストール）

・ SNS・各サイト (Amazon・楽天等) のログイン情報がわからない。

・ 端末のログインパスワードがわからない。

・ 端末のハードウェア故障の対応（マウスが動かない・キーボードの一部が動かない等）

その他、昨年度はサイバーセキュリティ犯罪（踏み台）に関係する捜査関係事項照会が 2 件発生した。企画課と慎重に協議した結果、内容を精査したうえで、センター側設備のログをはじめとする通信状況を保守業者に依頼し、資料を提出した。

3) インターネットの注意点など正しい利用方法の周知

サイバーセキュリティの問題が多岐に渡り、またインターネットサポートにおいても様々な方法や状況がある。昨年度は下記のセキュリティ情報の収集を行い、四万十ケーブルテレビの状況と照らし合わせることであった。

- ・高知県ネットワークセキュリティ連絡協議会への参加
(LINE 株式会社 LINE におけるトラブル事例やセキュリティ対策 講演)
- ・総務省インターネットトラブル事例集の活用
- ・みんなのネット教室 (NEC)

8. 広告放送に関する業務

レギュラー番組内に広告放送枠を確保し広告放送が行える環境を整備した。また、四万十ケーブルテレビのホームページにも広告・CM放送の掲載を行った。

9. 情報施設の利用の承認、休止、停止等に関する業務

放送通信サービスの加入申し込み、利用休止及び再開、利用停止及び脱退について、約款にもとづいた手続きを行った。

また、加入者からの様々な受付内容（電話や来局による問い合わせや内容の変更、障害やクレームなど受付全般）の対応及び記録を問合せ管理システムで管理した。

管理システム問合せ入力件数：約 2, 359 件

(1 案件につき 1 件のカウント、インターネット問合せ含)

10. 情報施設の加入に係る加入金及び利用に係る使用料等の徴収に関する業務

1) 加入金・利用料徴収及び未納者対応

約款にもとづいて加入金徴収の手続きを行い、料金未納者に対しては、以下のとおり対応した。

- ・2 カ月分の料金未納者に対して、当月まで 3 カ月分の料金振替案内を通知する
- ・3 カ月分の料金振替ができなかった利用者に対し、3 カ月分の料金の現金による納入期限を電話で案内し、期限までに納入されなかった場合は停波する旨を伝える
- ・3 カ月分の料金未納が確定した加入者に対し、放送通信を停波する

2) 契約内容の確認通知

契約内容等の変更申請があった加入者へ、書面（契約内容の詳細）交付を行った（平成 28 年 5 月電気通信事業法施行）

- ・書面交付件数：1, 014 通（案件 1 件につき 1 件のカウント）

1 1. 情報施設の維持及び管理に関する業務

1) 放送通信設備の維持及び管理

情報施設等の機器更新について、更新時期及び導入機器等の設備の仕様について定期的に担当課と協議し、機器更新等の改修がある場合は、更新計画表に反映した。

また、情報施設の清掃や備品の管理及び保守点検業務に基づいた設備、システム等の定期点検を行った。

【課題】ヘッドエンド再構築（機器更新）後の運用対策

平成30年度の再構築（FTTH 放送系設備及びデジタルヘッドエンド）により、冗長構成システムとシステム監視、遠隔保守など放送の安全・信頼性の高い保守体制が構築できた。構築業者であり保守業者である四電エンジニアリング株式会社と保守契約を締結し保守の実施を行った。

- ・各機器からのエラー発生時にメール・LINE Works にて 24 時間 365 日問合せ可能
- ・緊急性の高いトラブル時やエラー発生時には保守要員が駆け付け対応
- ・公社職員と保守要員の合同の運用説明会を実施し双方で情報共有（6 月 11 日実施）

【課題】機器更新（GE-PON系）に向けて方針の策定を行う

四万十町ケーブルネットワーク事業として構築された通信系設備（GE-PON）が導入から10年以上となるため、経年劣化を鑑みて令和2年度に実施設計、令和3年度に再構築する計画を企画課とCATV 機器交換計画表及び機器状況を踏まえ策定を行った。

また、令和2年度は最適なシステム構築に向けた実施設計を行うコンサルティング業者の情報収集とし「四万十CATV FTTH光通信系設備 GE-PON システム」のより低コストで高い安定性、高速性、将来性、耐久性を備えたシステムの更新を目指し、「ケーブルネットワーク実施設計・施工管理業務・再構築業務」に向けた仕様書の作成を行い、情報提供依頼の実施を行う。

2) 伝送路設備の維持及び管理

伝送路監視システムによる常時監視を行い、伝送路の調査を定期的に行った。

障害等の発生時には、職員が状況確認の後、工事業者へ作業依頼し復旧までの作業を指示。また、障害等につながる可能性がある伝送路設備の破損や支障木を発見した際には速やかに修繕、伐採するなどの措置を行った。

電力及びNTT 柱、自営柱の移転等により工事が発生し、経路が変わる場合や、新たに伝送路が設置された場合は、伝送路監視地図の修正を行った。

【課題】伝送路調査及び調査に伴う修繕工事を行う

主要幹線調査の及び修繕箇所の実施計画を立て、危険箇所から優先的に修繕を行った。

- ・調査及び修繕箇所：大正～十和間の主要幹線
- ・主な修繕内容：スパイラルハンガー外れ及びそれに伴う支障木伐採

3)障害発生時の対応

放送及び通信に障害が発生した際には、速やかに必要な措置を講じ、町を含む関係者に障害の発生を通報した。台風等の災害発生時には、公社に待機するなどしてFTTH等のエラー監視また町の対策体制配備と連動し、障害に対応する人員体制を整えた。

12. 事業の広報、宣伝及び利用促進に関する業務

ケーブルテレビの放送・通信サービスを宣伝、提案するとともに、利用者への支援サービスを行った。

自主放送番組及びホームページを通して広報宣伝を行うほか、自主放送（四万十放送室及び四万十うおっちゃんぐ）については放送終了後に一年間のネット配信を実施し、四万十町の様子やケーブルテレビの活動の様子を配信した。

【課題】四万十ケーブルテレビ開局10周年行事への取り組み

① 『四万十ケーブルテレビ開局10周年加入促進キャンペーン』の実施

加入申込受付期間：3/11～5/31

工事完了日：12/26

キャンペーン加入件数：77件

② 『四万十ケーブルテレビ開局10周年記念イベント』の開催

開催日：5/12（日）

会場：四万十ケーブルテレビ局舎、窪川四万十会館周辺

来局者数：約600名

イベントブースの設置

アナウンサー・カメラマン体験、中継車見学、ミニドローン操縦体験、高所作業車試乗体験、アーカイブ映像4K試聴体験、ホールイベント、ぬり絵コーナー、四万十ふれあい動物村ブレイメン、うまいもんブース、もち投げ

③ 『四万十ケーブルテレビ開局10周年記念プレゼント企画』の実施

企画内容：アンケートに回答した方の中から抽選で70名にプレゼントが当たる

（1等1名様・2等3名様・3等6名様・4等10名様・5等20名・6等30名）

応募対象者：契約者

応募期間：12/20～1/31

応募方法：ハガキ、インターネット

応募総数：261件

インターネットの普及に伴ったアンケートの応募方法『URLの入力やQRコードの読み取りでの応募』を取り入れ、スマートフォンがあればだれでも気軽に応募できるスタイルも取り入れた。

・窪川四万十会館イベント「CherCher2019」への出店

出店内容：ミニドローン操縦体験コーナー

開催日：10/26・27

13. 放送番組審議機関に関する業務

放送番組審議会を開催に際して、放送実績等の資料を作成した。

9/27 四万十ケーブルネットワーク放送番組審議会に参加・報告

3/06 コロナウイルスの影響で会議中止。書面による評決

【収益事業：会館・公園事業（指定管理）】

【R1年度課題】

課題①：自主事業の実施

課題②：設備改修工事の提案

- ◆年間の会館利用者数：13,127人（目標値：18,000人）
- ◆ホール利用回数：61回（目標値：60回）
- ◆多目的室利用回数：220回（目標値：250回）
- ◆自主事業実施回数：10回（目標値：12回）

1. 窪川四万十会館・四万十緑林公園の運営状況

令和元年度も指定管理に関する基本協定書に基づいて、窪川四万十会館（ホール、控室、多目的室）の利用拡大と事業内容の充実に努めた。

窪川四万十会館においては、経年劣化の修繕箇所や保守業者からの指摘箇所などを四万十町役場と協議を行い改修した。

3月1日以降、新型コロナウイルス感染症の影響で予定されていたすべてのイベント等が開催自粛となりキャンセルされました。

自主事業は月1回のペースで開催することができました。ホール5回、ホワイエ2回、公園3回、計10回を実施しました。（3月開催予定の映画上映会、四万十町地域文化フェスティバルを中止）

四万十緑林公園については、週末など休日に多くの家族連れが公園楽しんでいるのを見受けられるようになりました。木製遊具（11月2か所）が老朽化により利用できなくなっている。（R2年度金属製遊具設置予定）

設備の不具合の早期発見に努め、来園者が安心して過ごせる環境づくりを行った。

会館、公園、駐車場など全施設を対象とする賠償責任保険に加入した。

窪川四万十会館・四万十緑林公園利用状況一覧表

年度 月	利用室			利用人数			利用額	入金額	入金率
	木	控	多	会館	公園	合計			
H23年度	58	48	311	16,925		16,925	2,844,737	1,225,338	43.1
H24年度	45	36	283	15,322		15,322	2,635,684	1,630,773	61.9
H25年度	57	49	330	16,245		16,245	3,450,115	1,786,875	51.8
H26年度	48	38	265	14,610		14,610	2,790,793	1,392,009	49.9
H27年度	63	38	258	14,862		14,862	2,950,151	1,554,647	52.7
H28年度	74	53	230	18,756		18,756	4,033,684	2,261,509	56.1
H29年度	54	33	248	13,405		13,405	2,576,155	1,385,135	53.8
H30年度	64	37	229	16,525		16,525	4,060,884	1,509,800	37.2
H31 4月	4	5	21	1,098	98	1,196	265,795	193,118	72.7
R1 5月	3	2	20	1,316	3,373	4,689	153,996	99,491	64.6
6月	1	0	17	818	95	913	174,431	174,431	100.0
7月	6	4	16	1,465	145	1,610	361,937	281,979	77.9
8月	5	4	19	1,328	75	1,403	537,929	303,129	56.4
9月	6	4	25	959	105	1,064	492,717	87,599	17.8
10月	2	2	31	794	1,117	1,911	148,039	137,729	93.0
11月	12	7	19	2,094	18,110	20,204	447,114	138,909	31.1
12月	8	7	17	1,265	85	1,350	455,618	209,405	46.0
R2 1月	9	4	18	1,261	410	1,671	462,045	158,290	34.3
2月	3	2	14	708	100	808	245,037	132,830	54.2
3月	2	0	3	21	145	166	25,110	25,110	100.0
年度合計	61	41	220	13,127	23,858	36,985	3,769,768	1,942,020	51.5
	回	回	回	人	人	人	円	円	%

課題① 自主事業の実施として次の取組みを行った。

○ホール自主事業

開催日	イベント名	入場者	チケット料金
7月14日	桂三若 落語会	100人	一般 1,000円 高校生以下 500円
9月16日	映画「あの日のオルガン」上映会	155人	一般 1,100円 小中高生 800円
8月17日	四万十弦楽フェスタ 2019	200人	一般 1,500円 高校生以下 1,000円
12月15日	Banff・マウンテン・フィルム・フェスティバル上映会	50人	一般 1,500円 高校生以下 800円
1月13日	しまんとカラオケグランプリ 2020	300人	参加費（一般）3,000円 参加費（学生）1,000円

○緑林公園自主事業

5月5日	アオゾラコンサート ～こどもの日スペシャル～	3,000人	Fairy Pitta/narumi/JIRUTO /REIKA 四万十手仕事市実行委員会
5月12日	スポレク四万十 2019	250人	くぼかわスポーツクラブ、 社協（ふれあい健康づくり部 会）、(株)アクトワン
10月26・27日	chercher2019	1,000人	四万十手仕事市

○ホワイエ自主事業

4月16日	火曜夜のロビーコンサート ～岩瀬敬吾×KEEWO ツーマンライブ～	60人	岩瀬敬吾/KEEWO/ジュン ス/narumi
4月27日	日曜朝のロビーコンサート ～春うらら、オペラと合唱～	40人	山本幸雄/保木ふみ/濱 口亜希/窪川コーラス

○ ボランティアグループ『ひびき会』への依頼イベント

開催日	イベント名	主催者
04月21日	A/W/R ジャズ・ライブ	ライブ実行委員会（山地高）
07月28日	歌謡ショー	ゆたか会
09月08日	芸能発表会	四万十町文化協会窪川支部
10月19日	辰巳ゆうとふれあいコンサート	東谷プロモーション
01月13日	カラオケグランプリ 2020	四万十公社
02月29日	スペシャル踊りと歌謡祭	カラオケスナック咲

課題② 設備改修工事の提案

2. 施設及び付属設備の維持管理に関する事項

行政と協議し、窪川四万十会館及び四万十緑林公園の設備機器等の経年劣化による修繕及び機器更新を行ない維持管理に努めた。

【会 館】 演台及び花台の塗装修理
舞台反響板塗装修理
モニタースピーカー修理
ホワイエ排煙窓修理
玄関風除室 カーペット張替修理
玄関外部、ホワイエ電灯修理

【公 園】 スポーツトラクタ修理
木製円形ステージ修理

